

カリキュラム

B.生涯キャリア形成	チーム力の強化と中堅・ベテラン従業員の役割
-------------------	------------------------------

コースのねらい	中堅・ベテラン従業員が求められる今後の役割や能力を確認し、職場の課題に対してこれまでの経験に基づき後輩従業員と共同で解決策を探るための知識と技能を習得する。
---------	--

	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)	
講義内容	1	職場の課題	<p>(1) 集団理解の重要性 職場における集団活動には「課題(コンテンツ)」と「集団状況(グループプロセス)」という2つの側面があることを理解し、職場の生産性を高めるためには、中堅・ベテラン従業員が集団状況を意識し、健全化することが重要であることを理解します。</p> <p>(2) 集団活動の弊害 集団活動にはメリットだけではなく、①社会的な手抜き、②議論の極化現象、③集団浅慮など個人活動では起こらない弊害が発生することを理解し、中堅・ベテラン従業員が職場を牽引するうえで注意すべき点を確認します。</p>	2.0
	2	求められる役割と能力	<p>(1) 中堅・ベテラン従業員に求められる役割 これまでの経験を活かし、職場のキーパーソンとしての活躍が期待されていることを自覚し、組織内の役職とは関係なくリーダーシップ/フォロワーシップの発揮が求められていることを確認します。</p> <p>(2) 今後のキャリアのあり方 職場を牽引する存在として、どのような自分でありたいのか(身につけておくべき能力など)を、さまざまなリーダーシップ理論も参考にして検討します。</p>	1.0
	3	アサーティブの基本	<p>(1) アサーティブネスとは 様々な自己表現(発信)の方法があることを確認し、他者との良好な関係を構築するためには、率直な自己主張が適していることを確認します。</p>	1.0
	4	アサーティブな関係構築	<p>(1) アサーティブな受信と発信 アサーティブな受信方法としての傾聴と、発信方法としてのDESC法を学習し、今後の職場の中でどのように活かしていくかを検討します。いずれも演習を交えて習得していきます。</p> <p>(2) 柔軟性のあるコミュニケーション ソーシャルスタイル理論を用いて、自己理解・他者理解を深め、相手のタイプを踏まえたコミュニケーションの取り方を学びます。ここでは、ソーシャルスタイルを意識しながら合意形成を進める演習にも取り組みます。</p>	2.0
	合計時間			6.0

カリキュラム作成のポイント
中堅・ベテラン従業員には、職場のキーパーソンとして職場を牽引する役割(リーダーシップの発揮)が求められているととらえ、中堅・ベテラン従業員が主体的に業務に取り組み、後輩従業員に良い影響を与えることができるようになることを目指したカリキュラムです。

講師から一言
中堅・ベテラン社員の方々に必要なものの見方や考え方、行動のとり方について考えていただき、自己の行動を振り返って気づきを得ていただく実践的な内容です